

NEWS RELEASE

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

ズーム全域で同等の明るさ^{※1}を実現 エルコス LCOS液晶プロジェクター “WUX450” / “WX520” を発売

キヤノンは、「パワープロジェクター」シリーズの新製品として、光学 1.8 倍のズーム全域において同等の明るさを保つことを実現した、コンパクトなインストール（設置型）モデルの LCOS（反射型液晶）プロジェクター “WUX450” と “WX520” を 2014 年 1 月下旬より順次発売します。



WUX450 / WX520

新製品は、ズーム全域で F 値^{※2}が変わらないレンズを搭載することで、投写距離にかかわらず同等の明るさで高画質な映像を投写することができます。教室や会議室などで、据え置きや天吊りなど後方からの設置にも適した、コンパクトなインストールモデルのプロジェクターです。

■ ズーム全域において同等の明るさを実現

キヤノンが長年培ってきた光学技術を駆使した、新開発の光学システム「AISYS（エイシス）5.0」により、光学 1.8 倍のズーム全域において F 値 2.8 を保ち、高輝度の明るさをほぼ損なうことなく投写します。また、独自開発の LCOS パネルを搭載することで、網目のような格子感を抑えた滑らかな高画質映像を実現します。

■ 斜めからでも鮮明な映像を投写することが可能な「4 点キーストーン補正」

キヤノン独自の開発映像エンジンを搭載することで、画像の 4 隅の歪みを個別に調整する「4 点キーストーン補正」時でも、解像感を保ちながらモアレを低減した高画質な映像を投写します。さらに、新開発の被写界深度の深いレンズを搭載することにより、斜めから投写する場合においても画面形状の歪みを正しく補正し、画面全域において隅々まで鮮明な映像を投写します。

■ LAN ケーブルを通じてさまざまな連携投写が可能

パソコンから LAN ケーブルを通じて映像情報を受け取り、投写する「ネットワークマルチプロジェクション」機能を搭載しています。パソコンとプロジェクター単体同士に加え、複数同士の接続でも投写することが可能になり、多人数や複数の場所で同時に映像投写を行う際にも威力を発揮します。

製品名	価格	発売日	生産台数
パワープロジェクター WUX450	オープン価格	2014 年 1 月下旬	2,000 台／月
パワープロジェクター WX520	オープン価格	2014 年 2 月中旬	2,000 台／月

※1 明るさは 5%程度低下します。

※2 レンズの明るさを示す理論値。

- 報道関係者のお問い合わせ先：キヤノン株式会社 広報部 広報課 03-3757-6320（直通）
- 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター 050-555-90071
- 報道関係者用ホームページ：e-pr.canon.jp ● プロジェクターホームページ：canon.jp/projector

<主な特長>

1. ズーム全域において同等の明るさを実現

- ・キヤノンの光学技術を駆使した新開発の光学システム「AISYS5.0」の採用により、光学 1.8 倍の広角端から望遠端までのズーム全域において F 値 2.8 を保ち、高輝度の明るさを損なうことなく投写。状況に応じて室内の前方や後方に設置しても、同等の明るさで投写することが可能。
- ・“WUX450” は、アスペクト比 16 : 10 の高解像 WUXGA (1,920×1,200 画素) に対応し、最短投写距離 3.0m から 1.8 倍域に至る 5.4m まで※、4,500lm の明るさを損なうことなく投写することが可能。“WX520” は、アスペクト比 16 : 10 の WXGA+ (1,440×900 画素) に対応し、最短投写距離 3.1m から 1.8 倍域に至る 5.5m まで※、5,200lm の明るさを損なうことなく投写することが可能。
- ・独自開発の反射型液晶パネル LCOS を搭載することで、画面上に映る網目のような格子感を抑えた、滑らかな高画質映像を投写することが可能。

※ 100 インチ映像での計算値。

2. 斜めからでも鮮明な映像を投写することが可能な「4 点キーストーン補正」

- ・キヤノン独自の開発映像エンジンを搭載することで、画像の 4 隅の歪みを個別に調整する「4 点キーストーン補正」時でも、解像感を保ちながらモアレを低減した高画質な映像を投写可能。
- ・新開発の被写界深度の深いレンズを搭載することにより、斜めから投写する場合においても画面形状の歪みを正しく補正し、画面全域において隅々まで鮮明な投写を実現。

3. LAN ケーブルを通じてさまざまな連携投写が可能

- ・パソコンから LAN ケーブルを通じて映像情報を受け取り、投写する「ネットワークマルチプロジェクション」機能を搭載。
- ・1 台ずつのパソコンとプロジェクターを、LAN ケーブルで直接接続が可能な「ダイレクトモード」。
- ・6 台までのプロジェクターと 10 台までのパソコンを接続して投写することが可能。おのこのパソコンで 6 台までのプロジェクターへの投写を操作できる「ミーティングモード」や、一人の教員が 9 台までの生徒のパソコン画面を選択して投写することが可能な「クラスルームモード」を搭載。また、1 画面で 4 台分までのパソコンの画面を投写することが可能。
- ・1 台のパソコンから 12 台までのプロジェクターへ同時に投写することが可能な「ブロードキャストモード」を搭載。離れた場所でも、リアルタイムに同一の画像を投写することが可能。
- ・LAN ケーブル接続時は、1000BASE-T (ギガビット) ※の高速通信が可能。

※ 接続するパソコンによって上記の通信速度を満たさない場合があります。



ネットワークマルチプロジェクションの利用例

4. 小型・軽量のコンパクトデザイン

- ・約 33.7cm（幅）×37.0cm（奥行）×13.4cm（高さ）で、質量約 5.9kg の小型軽量を実現。天面は白い天井からの天吊り時にも目立たないデザインで、シンプルで高品位なスクエアボディー。
- ・本体後方に排熱処理システムを配置することで、通常の据え置きや天吊りに加え、2 台重ね※¹や、上向き/下向き※²など、さまざまな設置形態に対応。

※¹ 天面用のオプション脚（別売）が必要。

※² 上向き/下向きの設置には別途設定が必要。

5. 優れた低消費電力性能

- ・パネルの反射率や輝度効率が向上した、キヤノン独自開発の新光学システム「AISYS5.0」により、明るさ 1lm あたりの消費電力は“WUX450”が約 0.081W、“WX520”が約 0.068W と卓越した低消費電力性能を実現。

6. 「Blue-base」と「Clear-base」に対応した「DICOM SIM モード※¹」

- ・医療用画像の国際標準規格 DICOM Part 14※²に近似した映像の投写が可能。
- ・微妙な諧調の違いを表現できるため、会議でレントゲン写真を投写する際などで威力を発揮。
- ・新たに色味の異なる「Blue-base」と「Clear-base」に近似した映像を投写。さらに、ユーザーの好みに応じて色調を簡単に調整することが可能。

※¹ 無償オプションです。医療診断用機器ではないため、実際の診断には使用できません。

※² 北米電子機器工業会が発行している医療におけるデジタル画像と通信のための規格（Digital Imaging Communication in Medicine）。

7. デジタル 2 系統の接続を可能にすることで高画質の 2 画面投写が可能

- ・プロジェクター側面の映像入力端子に、パソコンで主に使用される DVI（デジタル）と HDMI の映像信号を同時に接続・表示することが可能。これにより、高画質のデジタル映像をプロジェクター1 台で 2 画面投写することが可能。

8. 優れた基本性能

- ・USB メモリー※にも対応し、豊富な映像入力端子を搭載。
- ・偏光変換素子の交換を不要にし、長寿命のエアフィルターや LCOS ユニットを搭載することで、メンテナンス負荷を軽減。
- ・ランプやエアフィルターは、天吊り使用時でも本体を取り外すことなく容易に交換することが可能。
- ・据え置き時でも本体を逆さにした天吊り時においても、プロジェクター本体で行うオペレーションパネルの上下左右の操作を、直感的に行うことが可能。

※ USB メモリーの投写は JPEG のみ。

9. 優れた設置性

- ・複数のプロジェクターの映像をつなぎ合わせて投写する「エッジブレンディング」機能を搭載。隣り合わせた画面のつなぎ目の明るさを自動的に調整することで、映像の重複部分を感じさせない美しく滑らかな大画面投写が可能。
- ・設置の際の映像設定において使用する、多数のテストパターンをプロジェクター内に搭載し、リモコンからダイレクトに呼び出すことが可能。
- ・パソコンからプロジェクターの遠隔監視や制御が可能な、Crestron RoomView※に対応。

※ RoomView は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。使用には別途設定が必要です。

<現行パワープロジェクターシリーズ用オプションレンズの発売について>

■ 設置領域のさらなる拡大を実現する短焦点ズームレンズ “RS-IL05WZ” (対象機種： WUX5000 / WUX4000 / SX6000 / WX6000 専用・別売)

※ 本日発表の新製品 2 機種“WUX450” と“WX520”は、レンズ一体型のため対応しません。

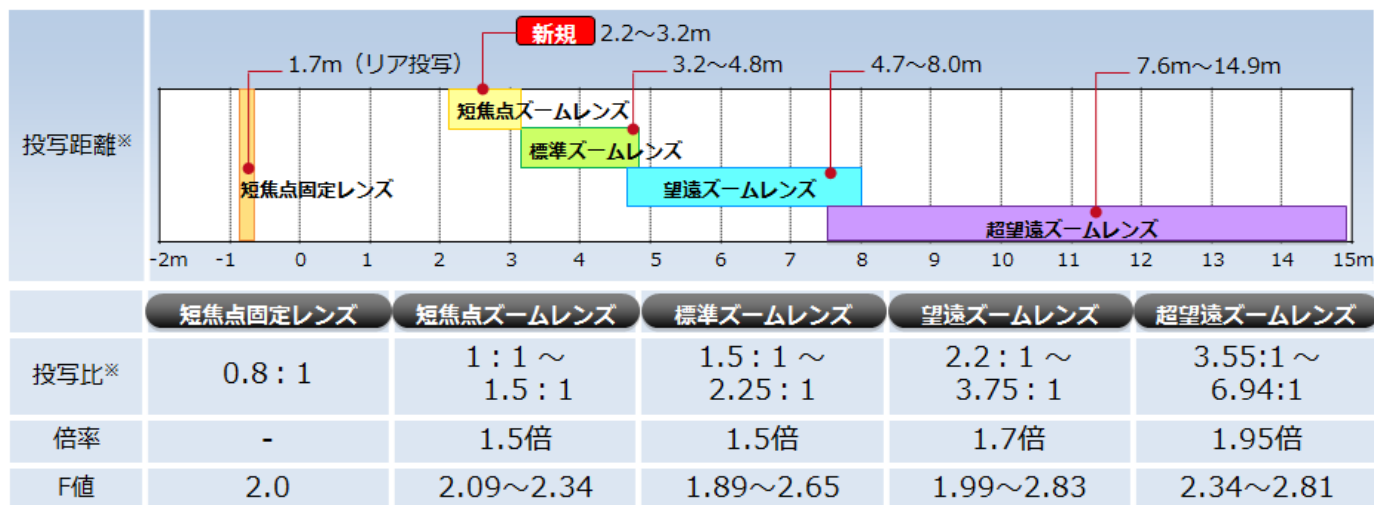
- ・画面から近い距離での設置を可能にする短焦点ズームレンズを新たに開発。11 群 15 枚のレンズ構成で、1.5 倍のズーム倍率を実現。
- ・画面から約 0.9m～19.9m※の設置に適しており、乗り物などのシミュレーションや、教育現場、結婚式場などの室内においても目立ちにくい前方での設置が可能。
- ・カメラや放送機器などで培ったキヤノンの光学技術を生かし、2 枚の非球面レンズを使用することなどにより小型化を実現。装着した際にもレンズが本体から突き出ない優れた設置性を実現。
- ・“RS-IL05WZ” が加わることでパワープロジェクターシリーズのオプションレンズのラインアップは 5 機種になり、短焦点から超望遠まで幅広い領域からの投写に対応。高画質を保ちながら広いズーム倍率を持つことにより、設置場所を柔軟に選定することが可能。



RS-IL05WZ

※ 「WX6000」(2012 年 9 月発売) に装着した場合の 600 インチ (16 : 10) の投写距離において。

オプションレンズのラインアップ



※ 「WUX5000」(2012 年 4 月発売) に装着した場合の 100 インチ (16 : 10) の投写距離において。

製品名	価格	発売日
RS-IL05WZ	オープン価格	2014 年 1 月中旬

<ビジネスプロジェクターの市場動向>

2012 年のビジネスプロジェクターの市場規模は、世界市場で約 700 万台、国内市場で約 20 万台でした。2013 年においても、世界市場で約 700 万台、国内市場でも約 20 万台と横ばいを予想しています。(キヤノン調べ)

<WUX450 / WX520の主な製品仕様>

製品名		WUX450	WX520
映像素子（枚数）		反射型液晶パネル（LCOS×3枚）	
画素数		1,920×1,200（WUXGA）	1,440×900（WXGA+）
投写レンズ	ズーム	1.8倍（手動）	
	焦点距離	f=21.7～39.0mm	
	F値	F2.8	
	投写距離	1.2～16.2m	1.2～16.6m
	100型投写距離	3.0～5.4m	3.1～5.5m
	投写比※	1.39：1～2.51：1	1.43：1～2.57：1
最大入力解像度		1,920×1,200(WUXGA)	
光源		250-NSHA	
ランプ出力		260W	
明るさ		4,500lm	5,200lm
映像	コントラスト比	2000：1	
	画面サイズ	最小40型～最大300型（16：10）	
	レンズシフト	上下方向±0%～+60% 左右方向±10%	上下方向±0%～+62% 左右方向±10%
接続端子	映像入力	DVI-I／HDMI／ミニD-sub15pin／USB	
	音声入出力	ステレオミニジャック×3（入力2、出力1）	
スピーカー		5W(モノラル)	
キーストーン補正範囲		上下±20° / 左右±20°	
消費電力（フルパワー / エコ / 待機 LAN消費電力 / 待機LAN OFF）		365W / 295W / 0.6W / 0.2W	355W / 285W / 0.6W / 0.2W
外形寸法（突起部含む）		約337（幅）×370（奥行）×134（高さ）mm	
質量		約5.9kg	

※ 100インチ映像での計算値